



横芝R.C. 会長テーマ  
小さな親切

思いやり

創立 昭和41年10月6日  
承認 昭和41年11月21日  
例会日時 毎週末曜 12:30点鐘  
(最終例会 18:30点鐘)  
例会場 中国ダイニング富士屋  
事務局 〒289-1732  
千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6  
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178  
URL <http://www.yokoshiba-rc.jp>  
E-mail [info@yokoshiba-rc.jp](mailto:info@yokoshiba-rc.jp)

第2790地区ガバナー 崎山 征雄 第6分區ガバナー補佐 進藤 義男

平成21年2月19日発行 NO.1879 第2007例会 会長 富 一美 会報担当 伊藤 元雄



## 例会報告(平成21年2月19日)

### 移動例会

(勝覚寺)

点	鐘	会長 富 一美
ソ	ン	「それでこそロータリー」
唱	和	「四つのテスト」
会長 挨拶		会長 富 一美
会務報告		会長 富 一美
幹事報告		幹事 小林定雄
プログラム		
各委員会報告		
会員卓話		小杉秀文会員 (勝覚寺住職)
		「勝覚寺にまつわる郷土の歴史」

## 会長挨拶



みなさんこんにちは。本日は移動例会にご出席を頂きましてありがとうございます。

そして、小杉会員には、自らが住職をさえておられます、この(宗)真言宗智山派勝覚寺におきまして、移動例会の場を与えていただきましてありがとうございました。この後の食事は、精進料理で、卓話は小杉先生から「勝覚寺に纏わる郷土の歴史」と題してお願いすることになっております。

本日は、小杉先生主導で宜しくお願ひ致します。

さて、私はお寺などに来た時にいつも心を感じるがあります。それは、「仏」ですとか「命の尊さ」など、どちらかと申しますと神秘的なものです。

お釈迦様は「すべてのものに仏が宿る」という言葉で語っております。仏とは悟りを開いた状態のことで、言葉を換えると真智、真如、真我という言葉で表すそうです。この真の智慧の根源となるものがすべてに宿ると言っているのです。

このことを「山川草木国土悉皆成仏」或いは「山川草木悉皆成仏」と、仏教の教義では説明しております。山や森、樹々や花、川、月や星も太陽にも仏性が宿っている、それによって心が洗われ、育まるという考え方であります。私は、なぜかそれお寺に来ると強く感じます。

小杉先生に以前「生かされている命」と題して、話をさせていただきましたが、そのお話を聞いて、特に感じましたのが、「自分の命」というのは先祖代々とかそういう次元ではなくて、もっと高尚な次元で大自然の弛みのない営みの中で、ずーっと遠い遠い昔から連綿と受け継がれ、育まれ、生かされて来たものなんだということを気づかされたとき、なぜか、もう一人の自分に出会ったような気がいたしました。

そこで、今度はそれに続いて「この世に生を受け、生きていく意義とか目的とかはどこにあるのか」そして「人間として価値ある存在になるためには」などということを考えるようになりました。皆さんはどのようにお考えになるでしょうか？

死を迎えた時に「あなたは現世で何をしましたか」？と、もし尋ねられたら、皆さんは何と応えるでしょうか？

ある書物に「人間として価値ある存在」となるためには、心とか、考え方とか、知恵とか、理性とか、といった精神作用の質が大切であり、それは現世を生きたときに作り上げた人格、人間性、魂、意識体としておりました。

そして、それは私たちの肉体が減びても無くなることはなく「あなたは努力され、素晴らしい人格を持つまでに自分の心を高めましたね」と言われることが人生の価値であるともしておりました。つまり、「人間性を高めるため」に現世で生きているということになります。

人間性を高めるとは、別の表現する言葉として「心を純化する」「心を美しくする」「豊かな思いやりの心をつくる」などがあります。

現世とは、このように人間が心を浄化するための修行の場であり、修行によって人間性を高め、人格を作っていくのが人生の目的ということになります。

皆さんは皆さんなりにお考えを頂ければよろしいのではないかと思います。

ロータリーは、特定の宗教などに拘ることはタブーとされておりますが、そうは申しましても、色々な宗教からの多面的な学びや、影響を受ける哲学的要素は非常に多いと思います。

何かこのようにだんだん理解を深めて行きますと、ロータリーからの学びというものが人間哲学・人生哲学たる所以と言われるところも、その辺のところには在るのではないのでしょうか。

この後、小杉先生の卓話がありますので、是非この機会にその辺のところの理解を深めていただきたいと思っております。

## ■ 会務報告

### 1. RYLAセミナーについて

2月7日(土)～8日(日)1泊2日で第32回RYLAセミナー(ロータリー青少年指導者養成プログラム)が東京都港区芝にごぞいます浄土宗大本山増上寺にて行われました。

当クラブから森川新世代育成(RYLA)担当委員並びに渡辺孝文会員が参加致しました。後ほど、森川会員から委員会報告をお願い致します。

### 2. 短期交換派遣候補生選考試験並びにオリエンテーションについて

2月15日(日)午前10時から2009～2010年度短期交換派遣候補生選考試験並びにオリエンテーションが行われまして、当クラブからの志願者であり

ます横芝中学校2年生篠崎未来さん(女性)とご両親、そして当クラブから私(富)、伊藤迪彦会員、高田一行会員で行って参りました。後ほど、伊藤会員から委員会報告をお願い致します。

### 3. 第6分区IM(インターシティー・ミーティング)

開催について  
すでに何度もご案内の通り2月24日(水)プラザヘイアン茂原で点鐘12:30でIMが開催されます。

バスを手配等詳細につきましては、再度、小林幹事よりお知らせさせていただきます。

### 4. CLP委員会開催について

四半期に一度のチェックをする為のCLP委員会を内田CLP委員長主導の下、21日午前11時から開催させていただきたいと思っております。富年度では2回目になります。今回は鈴木年度の方向付けも含めて行う予定です。委員の方にはご出席のほど、

## ■ 幹事報告

### ①例会変更のお知らせ

・大原R.C.

2/26(木) 休会(IM振替)

### ②千葉緑RC例会場変更のご連絡

新例会会場: 旬・彩蕎麦処 玄庵-IORI-  
〒264-0015

千葉市若葉区大宮台7-7-10

TEL: 043-209-2810

FAX: 043-209-2820

例会変更日: 2009年3月3日(火)第486回例会より

例会開催日: 毎週火曜日 12:30点鐘

(毎月最終例会は、18:30点鐘)

※現行と変更無

③ハイライトよねやま108号(2009年2月13日発行)

④『友』インターネット速報2009年2月10日No.368が届いております。

⑤3月のロータリーレートは、1ドル=90円

⑥週報受領クラブ

・大網R.C. ・茂原R.C. ・茂原中央R.C.

・流山R.C. ・茂原東R.C. ・旭R.C.

## ■ 会員卓話



### 『勝覚寺にまつわる郷土の歴史』

小杉秀文会員（勝覚寺住職）

#### 四天王

西：広目天

北：多聞天

南：増長天

東：持国天

四天王とは持国天・増長天・広目天・多聞天の四人の佛法を守護する守護神のことです。当山に安置されている四天王像には次のような、地名にまつわる言い伝えがあります。

#### ～伝説～

この四天王像は九十九里海岸に漂着したのを漁民が見つけた時、“緑海村の松ヶ谷にお釈迦さんがいるからそこに行きたい”と話したそうです。

実は勝覚寺の本尊のお釈迦さまは、インドの伝説的な名工「毘首羯磨」（ビシュカツマ）の作と伝えられています。毘首羯磨はお釈迦さまの像を3体彫りました。その内の1体が中国へ伝えられ、弘法大師が密教を学びに中国へ行った時持ち帰ってきたものなのです。

その漂着場所は現在の大網白里町の「四天木」です。昔、“四天寄”と表記したのはこの故事に由来しています。

さて、その願いを聞いた漁民はその四体を担いできました。その距離はおよそ15キロ程もあるでしょう。

途中で疲れて、担いでいた肩を右から左へ、あるいは左から右へ入れ替えた、“肩を換えた”のが今の「片貝」という地名です。

肩を入れ替えて再び進みましたが、道程はまだまだ半ばです。どの辺まで来たか、尋ねてみると返ってきた答えは「まだ先だ。」その辺りを今では「作田」といいます。

そして道を進み、また一休み。先はあるでしょうか、戻すか戻すまいか思案したのが、今の「本須賀」（もとすか）です。

結局道を進むことになりました、残すところは後僅かです。ここまで皆、息も絶え絶え命からがらの状態でした。そこが今の「井ノ内」（いのうち）です。

さていよいよ、明日には釈迦堂に着けるだろうから今日はここで一泊宿を取ろう、としたのが「宿」という所だったそうです。

さて、その話を運慶が後日耳にしました。

「あの四天王像は毘首羯磨にあやかりたいと思って彫ったものだ。それが毘首羯磨御作の釈迦如来像の元に奉られるとは、実に仏縁のありがたい事だ。」と言ったそうです。

これは江戸時代に両国の廻向院での出開帳の資料に残されています。

この様な伝説が、この辺りでは昔から伝承されてきています。



さていよいよ、明日には釈迦堂に着けるだろうから今日はここで一泊宿を取ろう、としたのが「宿」という所だったそうです。

さて、その話を運慶が後日耳にしました。

「あの四天王像は毘首羯磨にあやかりたいと思って彫ったものだ。それが毘首羯磨御作の釈迦如来像の元に奉られるとは、実に仏縁のありがたい事だ。」と言ったそうです。

これは江戸時代に両国の廻向院での出開帳の資料に残されています。

この様な伝説が、この辺りでは昔から伝承されてきています。

#### ～四天王と四方守護～

ある時、お釈迦様は四天王に言いました。

「私が涅槃となった後も、本当の教えを守護しなさい。未来に三人の悪い王が現れるだろう。お前達がみんなで力を合わせ法を護りなさい。」

その後お釈迦様の亡くなった後、帝釈天と四天王はお香や華、音楽や踊りでお釈迦様の舍利を供養しました。そして、

「お釈迦様は我々に法の守護を託して涅槃に入られた。今、我々はその為に法を守護する。」



と帝釈天が言いました。そしてまた、  
「持国天よ、お前は東方において佛法を守護せよ。」  
「増長天よ、お前は南方において佛法を守護せよ。」  
「広目天よ、お前は西方において佛法を守護せよ。」  
「多聞天よ、お前は北方において佛法を守護せよ。」  
お釈迦様は私が涅槃に入った後三人の悪王が出現するとおっしゃられた。もし、その王が佛法を壊するようなことがあれば、佛法を擁護せよ。」  
と言いました。これで四天王が東南西北の四方の佛法守護神となったのです。  
～「阿育王経卷第六」より訳出～

～南方守護佛神「増長天」～  
像高は2.13m。足下に踏んでいるのはいわゆる“天の邪鬼”です。マツの寄せ木作りで、往時はあでやかに彩色が施されていたと思われます。眼には玉眼が入っていて、肉付きが厚く各部のバランスも整っています。本尊釈迦如来の脇士、阿難・迦葉両尊者と同様に鎌倉時代の佛師運慶の作と言われています。



## 食事作法

### 五観

一めには功の多少を計り彼来処を量るべし  
二つには己が徳行の全か欠か多か減かを付れ  
三つには心を防ぎ過を顕すは三毒には過ぎず  
四つには正しく良薬を事とし形苦を救わんことを  
取れ

五つには道業を成ぜんが為めなり世報は意に非ず  
いただきます  
ます



## ニコニコボックス

富一美君

… (小杉会員場所を提供頂きありがとうございます)

鈴木勇君

… (仕事多忙です)

青柳誠君

… (いい卓話をありがとうございます)

齋藤逸朗君

… (本日が25周年の結婚記念日です)

本日計	4,000円
累計	803,211円

## 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
2月19日	46	35	11	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆